

令和7年2月

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、この度、別表に掲げる項目につきまして検査内容の変更
をさせていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する
次第です。誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、
何卒ご了承の程お願い申し上げます。 敬 具

***** 記 *****

■検査内容変更項目

実施期日 (注1) 令和 7年 3月31日(月)受付分より

実施期日 (注2) 令和 7年 4月 1日(火)受付分より

■検査受託中止実施期日(最終受付日)

実施期日 (注3) 令和 7年 3月29日(土)

実施期日 (注4) 令和 7年 3月31日(月)

検査内容変更一覧

コード番号 (統一番号)	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考	注
01440 (3C025)	尿素窒素 (UN)	検査方法	ウレアーゼ・GLDH・UV法	ウレアーゼ・GLDH・ICDH・UV法	測定試薬の変更	注1
05090 (3C025)						
03708 (5C094)	高感度心筋トロポニンI	検体の安定性	凍結(31日)	—	保存条件の見直し	注1
07205 (2B480)	フォン・ウィルブランド 因子活性 (リストセチンコファクター)	コード番号	07206	07205	測定試薬の変更	注1
		検体量	クエン酸血漿 0.5 mL	クエン酸血漿 0.4 mL		
		検査方法	LA(ラテックス凝集比濁法)	固定血小板凝集法		
		基準範囲	血液型 O 型 48.2 ~ 201.9 % 血液型 A、B、AB 型 60.8 ~ 239.8 %	50 ~ 150 %		
		報告下限	7.0 未満 %	10 未満 %		
		報告上限	480.0 以上 %	400 以上 %		
		報告桁数	小数 1 位	整数		
		備考	リウマチ因子が高値 (100 IU/mL以上)の 場合は測定値が高値傾 向となりますので、ご 留意ください。	(3.2%クエン酸ナトリウム): (血液)= 1:9		
18105 (5E128)	ツツガ虫病抗体	Gilliam-IgG (ギリアム)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
18110 (5E129)		Gilliam-IgM (ギリアム)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
18135 (5E125)		Kato-IgG (カトー)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
18140 (5E126)		Kato-IgM (カトー)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
18165 (5E122)		Karp-IgG (カーブ)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
18170 (5E123)		Karp-IgM (カーブ)	所要日数 4 ~ 8 日	4 ~ 7 日	所要日数の変更	注1
19409 (5F289)	コクサッキー A 群 9 型	検体量	髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19451 (5F301)	コクサッキー B 群	1 型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19452 (5F302)		2 型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19453 (5F303)		3 型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19454 (5F304)		4 型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1

検査内容変更一覧

コード番号 (統一番号)	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考	注
19455 (5F305)	コクサッキーB群	5型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19456 (5F306)		6型	検体量 髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
19930 (5F432)	ムンプス	検体量	髄液 0.5 mL	髄液 0.4 mL	検体量の見直し	注1
24325 (5J053)	インターフェロン-λ3	所要日数	3～9日	3～4日	所要日数の変更	注1
28010 (5J228)	TARC (Th2 ケモカイン)	所要日数	2～4日	3～5日	所要日数の変更	注1
28014 (5J228)	TARC (薬剤性過敏症候群)	所要日数	2～4日	3～5日	所要日数の変更	注1
28015 (5J228)	TARC(COVID-19)	所要日数	2～4日	2～3日	所要日数の変更	注1
31823 (4C026)	副甲状腺ホルモン Whole (Whole PTH)	備考	PTH は不安定な物質であることから、採血後速やかに遠心分離してください。 ヘパリン血漿も検査可 血清も可（急速凝固管による血清は避けて下さい。）	必ず血漿分離の上ご提出ください。PTH は採血後、直ちに冷却下で血漿を分離することで不活性化を防ぎます。 血清も可（急速凝固管による血清は避けて下さい。）	検体取扱い方法の見直し	注1
58298 (3K121)	インジウム	検体量	血清 0.5 mL	血清 1.0 mL	検体量の見直し	注1
06425 (2B100)	フィブリノーゲン	検査項目名	フィブリノーゲン	フィブリノーゲン	検査項目名の変更	注2
07255 (2B260)	プラスミノゲン活性	検査項目名	プラスミノゲン活性	プラスミノゲン活性	検査項目名の変更	注2
34385 (3M530)	バンコマイシン	検査方法 検体の安定性	EIA 法 冷蔵 5 日、凍結 36 日	LA 法 冷蔵 7 日、凍結 28 日	測定試薬の変更	注2
— (5A100)	特異的 IgE (該当項目は別掲参照)	判定基準	特異的 IgE 抗体価： 0.35 ～ 0.69 陽性	特異的 IgE 抗体価： 0.35 ～ 0.69 疑陽性	試薬メーカーの添付文書改訂	注2

受託中止項目一覧

●中止項目一覧（代替項目あり）

コード番号 (統一番号)	検査項目名	コード番号 (統一番号)	代替項目	注
20041 (5F101)	M-H/HPV-DNA 同定(液状)[中～高リスク型]	20055 (5F101)	HPV-DNA [16型・18型・その他のハイリスクグループ]	注3
21096 (5E079)	FTA-ABS(定量)	21160 (5E075)	TP抗体 定量	注3
21105 (5E080)	FTA-ABS-IgM	21170 (5E074)	RPR 定量	
31606 (5G310)	TSH レセプター抗体 (RRA法)	31607 (5G310)	TSHレセプター抗体(TRAb)	注3
04500 (3A020)	蛋白分画	04502 (3A020)	蛋白分画 (6分画)	注4
04510 (3A020)	蛋白分画 (胸・腹水)	04512 (3A020)	蛋白分画 (胸・腹水) 6分画	注4
04515 (3A020)	蛋白分画 (関節液)	04517 (3A020)	蛋白分画 (関節液) 6分画	注4

受託中止項目一覧

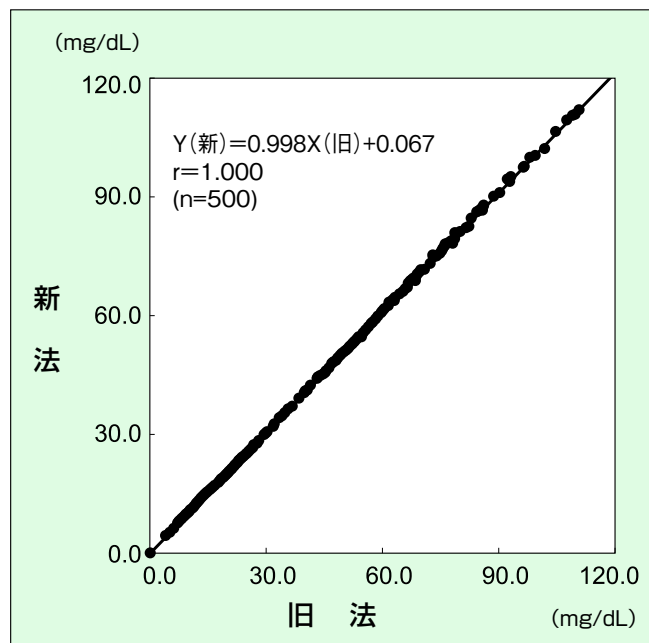
●中止項目一覧（代替項目なし）

コード番号 (統一番号)	検査項目名	中止理由	注	
12563 (5F313)	エコー 3 型	試薬販売中止のため	注3	
12567 (5F317)			7 型	注3
12571 (5F321)			11 型	注3
12572 (5F322)			12 型	注3
16027 (5F625)	SARS-CoV-2 抗原(唾液)	受託僅少のため	注3	
58231 (3FZ10)	アポ蛋白 E 表現型	受託僅少のため	注3	
23530 (5G635)	免疫複合体 -mRF	試薬販売中止のため	注3	
34446 (3L875)	リドカイン	受託僅少のため	注3	
10050 (5F395)	風疹 /HI クーポン	風しんの追加的対策(風疹クーポン検査)終了の為	注4	
10051 (5F395)				
10052 (5F395)	風疹 /EIA クーポン	風しんの追加的対策(風疹クーポン検査)終了の為	注4	
10053 (5F395)				
10054 (5F395)	風疹 /CLEIA クーポン	風しんの追加的対策(風疹クーポン検査)終了の為	注4	
10055 (5F395)				
10056 (5F395)	風疹 /FIA クーポン	風しんの追加的対策(風疹クーポン検査)終了の為	注4	

UN

現行試薬の変更に伴い、尿素窒素(UN)の測定試薬を同一メーカーが販売するウレアーゼ・GLDH・ICDH・UV法試薬からウレアーゼ・GLDH・UV法試薬に変更致します。基準範囲の変更はございません。

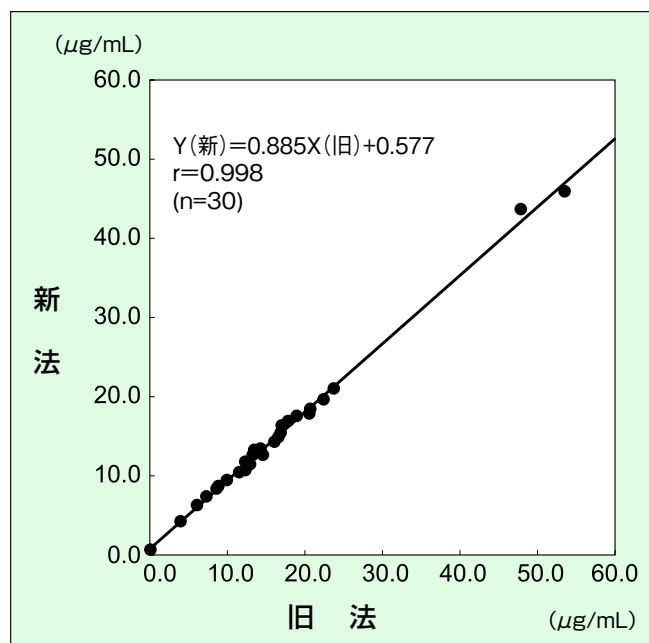
新旧二法の相関図



バンコマイシン

バンコマイシンの測定試薬をLA法試薬からEIA法試薬に変更致します。
なお、有効治療域に変更はございません。

新旧二法の相関図



● 特異的IgE

試薬メーカーの添付文書改訂に伴い、総合検査案内及び報告書の判定基準の記載が変更になります。抗体価によるクラス分類は変更ありません。

特異的IgE (判定基準)

新			旧		
クラス	特異的 IgE 抗体価 (U _A /mL)	判定	クラス	特異的 IgE 抗体価 (U _A /mL)	判定
0	0.35 未満	陰性	0	0.35 未満	陰性
1	0.35 ~ 0.69	陽性	1	0.35 ~ 0.69	疑陽性
2	0.70 ~ 3.49		2	0.70 ~ 3.49	陽性
3	3.50 ~ 17.49		3	3.50 ~ 17.49	
4	17.50 ~ 49.99		4	17.50 ~ 49.99	
5	50.00 ~ 99.99		5	50.00 ~ 99.99	
6	100 以上		6	100 以上	

●対象項目

- 特異的 IgE(シングルアレルゲン)
- 特異的 IgE(マルチアレルゲン)
- 特異的 IgE(プレパック)
- 特異的 IgE(F-PANEL)

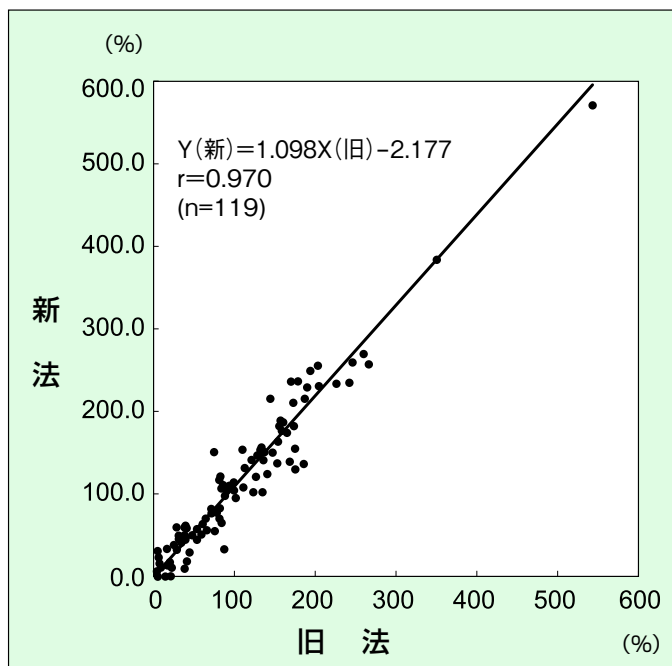
● フォン・ウィルブランド因子活性

測定試薬を固定化血小板から遺伝子組換え血小板膜タンパク1b(GP1b α)感作ラテックス粒子を用いる方法に変更します。従来法より感度が良好であり、特に活性が低い症例での正確な判定が期待できます。

また、フォン・ウィルブランド因子の濃度は血液型と相関し、ABO血液型のO型ではO型以外と比較して、約25%程度低いことが知られています。基準範囲を測定試薬添付文書に基づき、O型とA、B、AB型と分けて設定いたします。

なお、新法はリウマチ因子が高値(100IU/mL以上)であると高値傾向になることが認められていますので、結果判定の際はご注意ください。

新旧二法の相関図



■参考文献

Boender J.et al.: J. Thromb. Haemost. 16,2413-2424,2018.